

1) アンケート結果について

Cグループ	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ		
Q2: 自治基本条例を知っていますか？ 認知度が低い Q3: これからのまちづくりについて 市民と行政の協働が多い Q4: こんなまちになってほしい 誰もが安心、安全なまち Q4: あなたにできること 市民参加 Q5: 議会に望むこと P DCAをうまく回してほしい Q5: 市役所に望むこと 公平、公正な行政運営 Q7: まちづくりの共通ルール（条例）は必要ですか？ すでにあるという意味も含まれているのではないか？ 必ずしも自治基本条例の必要性だけではないのではないか	市民はこれからの島田市は、		市民と行政が協働	安心、安全で公平、公正な	親切で安心、安全	まちづくりを進めていくことを求めています。
	議会には、	市民の意思を反映してほしい	市民の意思の反映	チェック	市民のための議会運営	を期待していて、
	市役所には	公正、公平、誠実に効率的な運営	市民の声を公正、誠実に受け止めること	市民の声をよく聴くこと	市民への発信力 企画力、提案力	
	市民自身は、	自治会、地域の行事に積極的に参加して、協力	地域活動に参加	行政との協働	協働	をしようと思っています。
	まちづくりの共通ルールは	あったほうがいい	現時点で半数の人は必要	必要	市の発展の課題と目標を明確にしたまちづくり	と考えているようです。
自由意見を読んでも	満足感 その前に認められる 存在感 必要な時に、必要な人に、必要な情報を届けること したつもり=NG! 広報に載せただけ その情報を受け取る人	行政のチェック 地域の行事に参加 ボランティアをしたい		親切 市の発展 若者夫婦支援、子育て教育 若者にとって魅力的		

2) 島田市自治基本条例の必要性について

●「市民主体のまちづくり」とは		人づくり 地域のつながりを深める	行政は市民の声をよく聴き、市民は積極的に市政に参加すること	人任せにしない 市民の自立	
◆（一般的に言われるところの）「自治基本条例」というものについて	書き表される内容について 条例というものについて		なんとなくわかってきた なんとなくわかってきた～ よくわからない	なんとなくわかってきた なんとなくわかってきた	
これまで市民会議では、いろいろな角度から、これからの島田市のまちづくりのあり方を考えてきました。そのなかで、市民と行政の「壁」があるのでは？という大きな課題が見えました。その「壁」について、	市民 そっけない キマリ 聞いてもらえない 受けてもらえない キーワード：情報開示・国民性・担当職員の資質、経験	行政 規制にもとづいて運営 慣習	量の不足、一方通行 →量を増やす双方向 サロン、ワークショップ、アンケート、パブコメ	認識の違いがある→コミュニケーションを深める	壁をなくすためのシステムを築いていくこと (公開、話し合いの場)
今の島田市において「市民主体のまちづくり」は	市民→市政に関心がうすい 人材育成 不足 それぞれの立場の自覚ができていない 相手の立場 どちらも人、心がある 壁 精神的なもの 守り 風通しのよい窓をつける 窓口対応職員の経験、質がモノを言う 市民の人材育成 ←市から情報提供		量は不足 情報、コミュニケーション 一歩通行	市民参加が少ない 小地域単位でのまちづくりはできているが、島田市全体としてはまだまだ	不足
これからの島田市において「市民主体のまちづくり」は	市民主体 自発的に 満足を得る 市民自らが活動し、満足を味わえるか お互いの立場を尊重し、協働、協力する (目の前に来た) あなたの存在を大切にすまちづくり		量を増やし 双方向で		島田市自治基本条例に沿った協働のまちづくり
□島田市自治基本条例の制定について ～「市民主体のまちづくり」を「条例」というものにしていくこと				まちづくりのための条例 チェック機能 人任せにしない、自分から進んで 自主性	

「丸投げ」というキーワードについて考えました。『市民は基本的には行政を信頼してまちづくりをお願いしている。市民は市政について議員を選挙で選び、自分たちのための議会運営をすることとしている。』が、それでも「丸投げ」してしまいがちなこと、したくないこと、予防法のアイデアもありました。